

書名：優駿

著者：宮本輝

出版社：新潮社

出版年月：1989年11月

総ページ数：上巻 334 ページ

下巻 394 ページ

ISBN：上巻 4101307067

下巻 4101307075



推薦者

古川聖登

鳴門教育大学経営企画本部長

～純文学を読もう！～

君は、最近本を読んで涙を流したことがありますか。

教師はヒトを人間にする職業です。だから人間への深い理解と生への感動が必要なのではないのでしょうか。ぜひとも、学生時代に純文学に親しみ、豊かな感受性を養ってほしいです。なかでも私は、宮本文学をお勧めします。

さて、『優駿』は、11の章立てになっており、5人の主な登場人物が章ごとに主人公となり、あとの4人は脇役となります。人は誰しも自分の人生の主人公です。馬主である社長、その娘、社長秘書の男性、貧乏牧場主の息子、騎手という年齢も生き立ちも価値観も違う一人一人の主人公は、それぞれに幸せを願うものの、それぞれの人生の試練に苦しみます。そしていつしかこの5人の人生は、終章（第11章）で「オラシオン」というサラブレッドの勝敗にその人生を賭けるかのように交錯していきます・・・

そして最後にその5人の中で、1人だけが勝者となります。それは誰でしょうか。なぜその人は他の人生をも巻き込んで力強く幸福をつかむことができたのでしょうか。作者は1頭の馬を縦糸に5人の生き様を横糸にして紡ぎ出したストーリーの中で、人生において何が重要なのかを読者に問いかけています。

私は、どんな人間でも純粋で力強く人生を開く力を秘めていると信じています。

そして教育者になる君たちに、この本から、人間の心の多様性、深さ、純粋さ、力強さを感じ取ってほしいと心から思います。

ちなみにこの本は吉川英治文学賞を受賞しています。作者の宮本輝氏は芥川賞の選考委員です。他にも『螢川』（芥川賞）、『錦繡』、『青が散る』などの小説が有名ですし、『命の器』などのエッセー集もいいです。最近読んだ『田園発 港行き自転車』も名作でした。

純文学を読もう！

